



發行所 磐城日日新聞社 社址 磐城小浜町高瀬51番地 電話 21355 編集人 高瀬 芳郎 印刷所 磐城日日新聞社 印刷長 高瀬 芳郎

小名濱水高選手決定 縣總合体育大會に出場

小名濱水産高等学校では、来る十五、十六、十七日の三日間若松市に開催される第三回福島縣總合体育大會に出場をめざして各部の選手は連日猛練習をして、出場選手三十名の経費抽出に付きP.T.A側と協議中の處八日同窓會の協力によつて派遣費用を調達することになった。

- 顧問 塩澤 三郎
- 顧問 葉谷 守夫
- 顧問 胡口 藤雄
- 顧問 小丹野 隆彦
- 顧問 小川 修
- 顧問 吉田 健一
- 顧問 根本 文作
- 顧問 比佐 豊
- 顧問 遠藤 壽
- 顧問 中島 明義
- 顧問 白井 弘道
- 顧問 小野 爲義
- 顧問 大久保 邦衛
- 顧問 吉田 久光
- 顧問 大平 一雄
- 顧問 和深五郎 造

ピタ油を児童に配給

小名濱水産試験場の試み

縣立小名濱水産試験場ではピタミンA肝油搾り開始し、頗る良好な結果を得ているが本業の趣旨は当時迄魚油のみ利用して居つた肝臓をピタミンに富むものピタミン油原料と

驚くべき再軍備論

たかせ・かずみ

同業紙、いわき民報の編集兼印刷発行人名義になつて居る田原さんが、再軍備の必要と云う事で同紙九月八日付第一三二二号の民報論壇に掲載している論文を拜見して、誠に驚くべき所論であり、大膽なる発表であるので如何に言論は自由なりといへ、地方新聞の重要なポストを占める同氏の言動の影響少なからざるを思い、新聞の

- 顧問 鈴木 敏
- 顧問 小島 良
- 顧問 渡辺 一
- 顧問 小野 敏
- 顧問 竹原 久
- 顧問 徳山 天
- 顧問 鈴木 敏
- 顧問 小島 良
- 顧問 渡辺 一
- 顧問 小野 敏
- 顧問 竹原 久
- 顧問 徳山 天

防波堤工事完成 中之作港の面目一新

本年六月より江名港修築事務所の直轄事業として工事中であつた中の作港東側防波堤延長一五九米の嵩上工事は予定通り進捗し七日工事完成した。その結果は今後の災害を相當に免れるものとみられる。

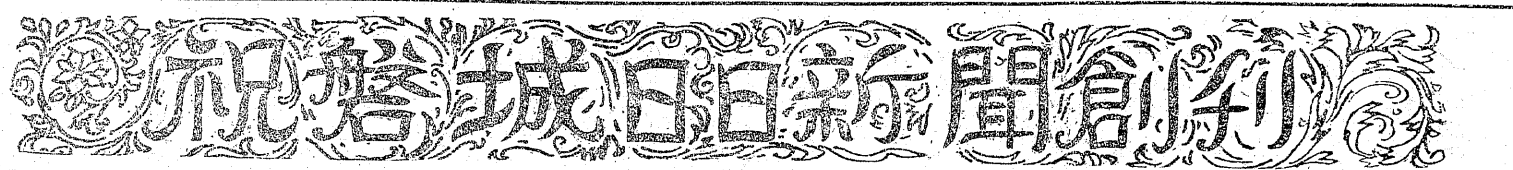
朝散る葉 小名浜町 高木可水 蛔虫を下し炎天へ無帽のまゝ 夏帽の女の向ける海激す 夏盛んに朝の氣流は海より來 蟬鳴く基地小高く町中善人なり 馬合畧の剝かれて籠に青さもつ 地にとどくまじを見居り朝散る葉 ギヤマンの葡萄をつまみ別れの言 台風裡事務所の炭火焰立ち 喪家の灯盡くるを月光うけつぎぬ 曼珠沙華咲ききり海の蒼に抗す

依る油較、鱈を原料とした低單位のものとして、繩漁業に依る吉切鮫、マグロ類の他アブラガレイ等の高單位のものと二段構えで進む計画であつたが、五月頃より、米國に於て合成ピタミンのコスト安生産のため天然ピタミンの暴落があり、殆んど低單位のものが高單位の價格算出基礎が全一となり高單位が割安となつた、其の結果ピタミン油のダンピングが

行われ日本ピタミン界に一大恐慌を來たした。最近に到り北朝鮮動乱とピタミンに依り米國生産停止となり再び一割乃至五割方の上昇の傾向を示して來た。ピタミン油はピタミンAとDが含まれて居り、Vitamin Aは乾燥性眼炎(夜盲症)虚弱体質、肺結核等の傳染性疾患の抵抗力を増進、生長促進等に効果有し、Dはクルミ病等に効果を持つて居る、米國に於ては牛、豚、鶏等家畜の飼料に使用して居り又醫藥品等にも使用して居る。本縣業者への普及の面ではピタミン價の高いものでピタミン原料として利用し、各製薬会社として販賣して居る。試験場としての今後の方針は搾油試験の傍ら肝油搾油装置を最高度利用させるため希望者に機械を開放するが、尚本年度予算中から脱税の購入費があるので、完全なる薬用肝油を精製し縣内児童用として配給する方針である。

委任統治地や租借地を勢力圍内として、いわゆる國威を海外に輝かせたといふ勝利の歴史を目して、軍人が國を興したと想定されたの敗は軍人や武器だけの力であらうか、戦争の勝たない、國民の總力が集され、あらゆる産業陣が動員されてはじめて、國力や國勢が培養され、戦力を維持する事ができるものであつて、勝利の背景である。戦後の力を無視して、軍人が日本を興したといふような思いの上つた思想が軍閥となりファ

日本の永世中立という嚴肅なる鉄則を、われわれに顯示されていることを健忘するにはまだ早すぎる。武器を持たない警察予備隊と警察力では赤軍の侵入は防げないとも書かれて居るが、現代の尖鋭化した科學戰に於て、一休如何程の軍備があつたら、赤軍の侵入を防ぎ得るであらうか。生兵法は怪我の基といふ、無抵抗主義のガシージを聖徳と仰いでいた、武器を持たざる要がありはしないだらうか。



阿野 上正美 下町 電一六〇番	市原 上増次郎 下町 電二七二番	くさや 永山辰之助 上町 電二二三番	恵比寿丸 小野義男 古湊 電二一五番	八崎 瀧内與平 下町 電七七番	光勝丸 吉田由吉 小名川丘 電四一四番	嘉寶丸 高木嘉一郎 定西 電二〇八番	山増漁業部 橋本 電九二番	光明丸 馬上一
--------------------	---------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------	------------------------	-----------------------	------------------	---------

江名町會臨時召集

町稅條例案其他上程

来る十一日江名町警察會議室に於いて臨時町會を開催し左記提出議案に對して審議する

提出議案

- 一、寄附採納の件
- 一、江名町町稅條例設定の件
- 一、新制中學校敷地用買収に關する件
- 一、新制中學校敷地用買収地中自作農創設特別措置の件
- 一、法第十六條第二項に係る措置の件
- 一、新制中學校敷地用買収地と町有地との交換の件
- 一、縣道舗裝費町負担の件
- 一、縣道舗裝費地益者負担金額決定の件

勞組役員選舉激戰

各派の動向注目さる

統一懇談會を内郷に於て開催さる。新湯水支部長、齋藤茂雄(民間)前支部長齋藤崎山、山田儀雄(革同)の諸氏である。

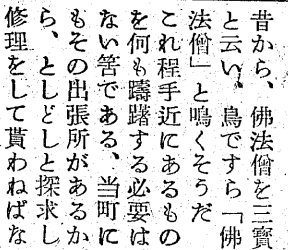
組合長には、渡邊氏が強いと云う見方が多いが、荒木氏またよく奮戦力關して居るので、仲々樂觀はゆるされま

山田の兩氏伯仲とのうわさで今のところいづれとも見当がつかない

と云う。天下に誇る常磐炭礦勞組を今後一年間リードする覇権は、いづれの手に?

佛世界から人間探求

鳩の巢 如 鳩



昔から、佛法僧を三寶と云ふ。鳥ですら「佛法僧」と鳴くそうだが、これ程身近にあるものを何も躊躇する必要はない筈である。当然にその出張所があるから、と少しと探求して修理をして貰わねばならぬ。

受けて、凡ての物を観察する時、そこには物言わすして皆我らに話しかけてくれる。

心無き人よりすれば、あなからしこ、華のすいから天井も見ゆ

なぎさ

愛される新聞に

ラジオが何んとかいわれなから民衆の間に受け入れられれば意味が完全にはない一人であり、世の知識層のためにはまた別に出されて一般向きにはどのおおぼろさでも喜んで読んでほしいと願う。

新聞記者のうちに私に一面記事の完全な読みこませる人は何人いるでしょうか、簡単にいえば基準が高すぎるのではないかと思われます。ラジオは一度聞きこまなつたらもうお終いですが、新聞は置きたいものは何時でも置きたいものは何時でも置きたいもの、強みをもつて居るのです、難かしいとは、ある程度



臨港鐵道妨害

八日午後六時半頃下り小名濱行き列車が泉宮下驛を進行中線路上にコブシ大の石七、八個ならべているのを機、関手(田島清松氏)が発見事なきを得た

自由勞組に

お盆手當

湯本町自由労働者は、二百六十余名居るが、他町村と比較して、穩健で勤勉であるところ

度の基礎知識がないと理解しにくいという意味と、もう一つは表現の仕方の難しさがある。その解説のようなら、必要なのは、一部にその解説のようなら、よしい、言葉の難しさを今が次第にはやらないが、田舎者中心と化が都会を中心とした間でも移り変わっています。田舎では徳川時代と變らないもの、考え方が外形の移り変わることなく残っているところ、また相当にあると思われ、こゝに田舎

は田舎なりに低くともその地方の文化、風俗を中心としたところの地方新聞の必要性があると思ひます。

世界の大局をよく知るということもそれは大切なことかも知れないが先づ自分自身の身近の出来事を知るといふことが第一だと思ひます。大新聞の一面記事より地方新聞の身近な記事を喜んで読み一家團圓の夕食のとき話題にのぼるよきやま話もその地方の出来事が多いと思ひます。

幸い小名濱町にも待望の新聞がデツチあげられるよう願ひ致します。(讀者より)

【小名濱青果物市場】

なす	二〇〇〇
胡瓜	二一〇〇
甘藷	七〇〇〇
馬鈴薯	六〇〇〇
芋	六五〇〇
人参	二〇〇〇
ごぼう	一〇〇〇
豆	六〇〇〇
枝豆	四〇〇〇

【小名濱魚市場】

大かつ	三七五〇
小かつ	一九〇〇
さば	一一五〇
平目	五五〇〇
スズキ	六五〇〇
セイゴ	四二〇〇

【小名濱魚市場】

大かつ	三七五〇
小かつ	一九〇〇
さば	一一五〇
平目	五五〇〇
スズキ	六五〇〇
セイゴ	四二〇〇

天氣豫報

【明日】北の風、朝の中曇、日中は南寄の風や強く良い天氣ですが午後から次第に雲を増し驟雨模様となる

【明後日】北よりの風、天氣は下りながら日中は南風により風波が高まりますから小型船は御注意

拳銃往來

製作……ロバート・スパークス
監督……シドニー・ランフィールド
原作……リニーク・シヨート

キャスト
ヘイヴン……ディック・ボウエル
チャーリー……ジェーン・グリーア
キヤスロン夫人……アグネス・ムーアヘッド
ホテルの番頭……ポール・アイヴス
アイリス大尉……トム・パウイズ

9日—11日

小名濱 磐城座

★梗概★

ジョン・ヘイヴン少尉は、守備隊の駐屯地である或る西部の町で起つた兵士殺害と軍服盗難事件の調査を命ぜられ、渡り者をよそおつて町へやつて来た。町は、賭博場を經營するチャーリーと呼ぶ女が牛耳つていた。彼女は夜の酒場の美貌歌手として優雅な魅力をふりまいていたが實は悪らつた女ボスであつた。ヘイヴンは着いた晩、チャーリーの手下で村一番の若者ミックを格闘の末、打ちのめし、チャーリーの信任を得て彼女の警備馬車の用心棒に雇われた。その頃、インディアンが起つて守備隊をおびき出し、その間に隊の倉庫に藏つてある莫大な金を盗もうとする陰謀が知れ、ヘイヴンはこれが軍服盗難と關係があることに気が付いた。彼は金山の持主であるキヤスロン夫人を説いて彼女の金の輸送を買つて出た。果して馬車は強盗團に襲われ、仲間を殺されたが彼は何の危害も受せず、ヘイヴンは直ちに一味を追つてその一人をたおし一味の根拠をつきとめることに成功した。そこはチャーリーの經營する製材所であつた。チャーリーに對する疑惑を深めたヘイヴンは、一味が彼を仲間と思ひ、奪つた金をチャーリーに宛て、托したのを幸い金を山中に隠して歸つて来たが、チャーリーは早くもこれを見破り、二時間の猶豫を興えて返還方を要求した。ヘイヴンは製材所でミック一味に襲われたがミックをたおし、盗んだ軍服をかくした倉庫を焼き拂つて脱出し守備隊に急を告げるとその足で賭博場にチャーリーをたすね、逮捕を迫つた。手下のプリンスは背後からヘイヴンを射とうとしてかえつて彼に射殺され、プリンスの弾丸はチャーリーに命中してこれに致命傷を興えた。虫の息の彼女はヘイヴンの腕の中で始めて戀を打ち明け、最後の接吻を受けながら波らんな多い女丈夫の生涯を閉じた。

ナイトシヨウ 夜九時半ヨリ

九日ヨリ十一迄三日間

伊丹秀子口演浪曲映畫再度上映

二本柳 寛・伊澤一郎
杉 狂児・若杉須美子
英 百合子・齋藤紫香

涙の港

三度訪れる涙の映畫・とめどなくくる親子の熱涙

ナイトシヨウ=限リ 大人小人共 三十四(税共)